

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



クジャクシャボテン 画・加納忠

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会
〒540-0026 大阪府中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120/FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)

大阪から公害をなくす会第37回総会

足元の問題から地球規模まで 公害問題は 国境を越えて迫ってくる!!

活発な討論で新方針と新役員体制を決定

6月9日(木)夜、第37回総会を31団体45名の参加で開催しました。

はじめに、金谷会長から開会挨拶があり「今回の総会は、①安倍政権が憲法改悪のための3分の2以上の獲得をめざしている、②しかし市民や野党共同が共同政策をつくって地方区のすべてで共同候補者を擁立している、③公害をなくす会も原発問題、TPP問題、地球温暖化、石炭火力問題などで粘り強く取り組みながら、新しい世の中をを目ざしていきたい」と話されました。次いで、メッセージ紹介、祝辞を受けた後、久志本事務局長からこの1年間の取り組み、公害環境デー、NO₂一斉測定運動(ソラダス)を含む、公害をなくす会の様々な活動の経過と方針について提案されました。

続いて8名の方から発言がありました。原発事故被災者支援の白倉弁護士からは、大阪にも多くの人が母子避難し、「来年の3月には大体の支援を打ち切る」と言う政府の方針が、問題になっていること。

伊藤氏からは、毎年の中皮腫死亡者の半数以上が、「どこでアスベストにばく露したかわからない」という。環境問題としてアスベスト被害が重大にもかかわらず、公害問題として国や企業の責任を明らかにすることが難しいが、建設訴訟で勝利してそれを土台に前進をはかろうと訴え。

公害患者会の上田氏から、大気汚染の公害はまだ終わっていない、公害補償打切りの条件で行っている健康調査では、18回目にして初めて大気汚染ぜん息との関係があると国が証明したこと。

ソラダス測定運動について西川委員

長から、6月5日に民医連検査技師などの協力、新しく購入した分光光度計により一日で9,651個のカプセルを分析。環境省は大気汚染とぜん息との因果関係を認めた。WHOの世界的調査で大気汚染と発がん性死亡率とが関係あり、毎年300万人も死亡している。吹田地域の死亡率調査にソラダスも一役買うことになる。

左岸線二期工事では中津の広瀬代表からは、大阪市水道局が古い鉄管除去工事で淀川左岸線堤防を開削したが、今後の堤防トンネル工事が危険な工事になると思い、現場でとった観察記録写真を紹介された。

寝屋川廃プラの牧代表からは、12年戦ってきたがまだ問題は解決していない。裁判でも公害等調整委員会でも肝心の健康被害について調査されなかった。しかし昨年の市長選挙で市民の声を聞く新市長を誕生させ、その結果環境課が出来た。選挙が大切であると痛切に感じたこと。

泉大津市なぎさ住宅での騒音・粉じん問題について森下議員からは、環境基準を大きく超える屋間77.2デシベルという耐え難い状況であり、大阪府、阪神高速に対策を要求してきた。公害をなくす会の支援を得ながらやっと大阪府も



「改善せねばならない」と発言するまでに至った。

岩本顧問からは「直ちに川内原発を止めよ、高浜原発の再稼働には反対」をアピールになど、活発に討論されました。

その後、新役員の大勝さんが「初めて参加したが、方針にある最大の環境破壊である戦争法制に反対することを一番に考え、学習しながら取り組んでいく」と決意表明。続いて特別決議の「立憲主義・民主主義そのものを根本から破壊する 日本国憲法の改悪に反対し、人の命を奪い 環境破壊につながる『安保法制』を撤回することを求めます!」を全員で承認した。最後に藤永副会長から、「小さな予算とボランティアの力で実に多様な問題と課題に取り組んで成果をあげている。公害問題は終わっていない。国境を越えて私たちに迫ってきている。戦争法にも公害環境の分野から取り組んでいく。次の世代への責任をもって、これらに立ち向かっていこう」と力強くあいさつされ閉会しました。

第21回環境学校 「地球温暖化防止と自然エネルギー推進」

日時 2016年9月17日 10:00 ~ 16:00
場所 民医連会議室
内容 午前/学習講演会「地球温暖化防止と自然エネルギー推進」
和田 武氏 (自然エネルギー市民の会代表・元立命館大学教授)
午後/交流会と討論 (詳細は企画中)